

託兒所保母の任務

朝 原 梅 一

託兒所の保育の普通考へられて居る幼稚園の保育と違つて居る主なる點を二三あげますなら、(1)保育の時間が長いこと、(2)幼兒の家庭が勤勞階級であること、(3)幼兒は他の幼稚園の幼兒の様に訓練されて居ないこと、(4)幼兒の年齢が不揃ひであること、(5)保育料は幼稚園よりも安く、三錢乃至五錢等の日納であつてその徴收に骨が折れること、(6)託兒所では幼兒の保育のみならず、その家庭生活をも向上させる様に家庭の人達を導かねばならぬことなどを數へることが出来ません。

この様に幼稚園保育と異つた事柄を擧げたのを見たばかりでも、氣の弱い保母さんは、もう託兒所の保母になるのは御免蒙ると考へられるであります。だから本當に託兒所の保母になるには一大決心が必要であり、またそれに従事されて居ますと俸給が安いのであります。だから本當に託兒所の保母になるには一大決心が必要であり、またそれに従事されて居る方に對しては敬意を拂はなければなりません。設立者(經營者)は此邊を好く察してこの様に長い時間を保育するに保母さんが疲勞を感じない様に、幼兒が退屈しない様に、こうした保育に必要な設備をされる様に常に奨勵をして居るのであります。それも經費不足の點から思ふ様に出来ないのが實際の傾向であります。この傾向を充分に存じて居りながら託兒所の保母の任務をこゝに陳べるのは如何にも氣の毒な氣持がいたしますが、託兒所經營の方針に立脚いたしました其理想を二三申し上げることを許して戴きます。

託児所の保育と普通幼稚園の保育と共通な點も澤山あります、例へて申しますと、(1)保育過程表及保育案の作製で保育も一種の教育である以上、常に今年はどうな保育をして幼児の欲求を満足させやうと、しかとした保育の具案がなければならぬと思ひます。その具案を幼児の生活に應じて適應することが必要でありまして、平素からこの準備が出来て居なければ適切な保育も出来ないこととなります。(2)日課表及日誌も保育いたしました過去を反省して、その結果を判断するため必要であります、(3)幼児の個性觀察若くは生活記録も、之を作る必要があります。特に將來個別指導を要する様な幼児に就ては小學校聯絡を取る必要もあります。(4)託児所の幼児の入退所は甚だ頻繁でありますからこれも出缺及修了等と共に保姆さんが之を好く記録しなければならぬことであります、(5)託児所が保育時間の長いのを活用して國民の生活の過去及現在を如實に知らせるために、一ケ年を通じて宮中及一般國民の諸儀式及年中行事を研究して之を保育の資料にすること、(6)託児の幼児には好く有り勝ちなのは眼病及皮膚病等でありまして、特に保健衛生に注意しなければなりませんから定期的に又随時に幼児の身體及精神の検査をして、その記録を作ること、(7)幼児を長い時間を面白く遊ばせるために種々な保育用具が必要であります、それを好く管理いたしませんと大切な品でも一たまりもなく破壊して終ひますから、これに氣をつけて小破の時に修理すること、(8)滑臺や、鞆フラスコなども好く日課の様に毎朝注意しないとその破損した部分を氣付かぬために幼児が思はぬ怪我をすることがあり、砂場の砂も固つて、補砂するか之を掘りかやすかしないと砂庭の用をなさぬことがあります、(9)保育所を美しくするため、また觀察資料を豊富にするために園内に植物が必要であります、これも、好く蟲を探るとか、水と與へるとか、壊れんとする枝を助けてやるとか不用な枝を拂ふ等は幼稚園にも共通な保姆の任務であります。

更に託児所の保母に特有なる任務を挙げますなら、託児所に來る家庭はその地區に依りますと、(1) 規律的な生活に馴らされて居らぬ家庭が多くて、父母が勞働に出るため早朝連れられて來る幼児は別として、他の多くの幼児は時間が不規則に流れ易い傾きがあります、それに保母さんなどが遠方から通勤などなされる様な場合には殊に時間の觀念が保母さんも、幼児も共に不規則になり勝ちでありまして、時によると少數な幼児は最初は小使さんに保育される様なこともあります。こゝで序ながら申し上げて置きますが、保育は幼児が來所すれば初まる譯であります、多くの家庭も、甚だしいのは保母さんまでが、「先生お早やう、皆さんお早やう……」の式があつて始めて保育が開始される様に考へたり、團體保育が本當の保育だと誤解して自由遊びなどを大切な保育と考へない誤つた傾向も稀れにはありますが、これは根本から考へ直さなければなりません、この點から通勤のみの託児所では當番でも定めて、一人の保母さんが早出をするとか、またそこに保母が宿直するとか云ふことが託児所の保育を規律的にならしめる必要であります。(2) 託児所の家庭の性質上から朝早く連れて來て、夕方遅く連れて歸られる幼児もありますが、それが各々ちぐはぐにならざるを得ない家庭の事情もありますから、時には冬分などは保育室の温たまらない前に寒さうに、また淋しさうに多くの友達を待つて居る幼児もありますれば、また夕方には、大部分の幼児が楽しく歸つて行くのに淋しく遅くまで遣らなければならぬ少數の幼児もあります、夕方などは朝とは違つて、成人でも淋しくなり、また一日の疲勞も覺える時でありますから、多くの友人に遣されて置かれる幼児は本當に淋しさうであります。こうした幼児を心から楽しませてやる慈愛心を働かせなければなりません。(3) 託児所が本當の機能を働かせるなら、貧困な家庭、夫婦共稼の幼児が多く託されることになります。かうした家庭の幼児の衣服等は中流以上の家庭の幼児を対象として居る幼稚園の幼児と比較の出來ない程、粗末で、洗濯が行き届きません、時には託児場の備品と着更へさせて、洗濯してやる程の親切がなければなりません。(4) 託児所は保育の時間が長い爲に、おやつを與へますが、それも機械的な考への保母さんなら、おきまりの御菓子を商店に注文して持つて來させればそれでも濟みま

すが、それが私設團體の經營を助ける意味から、出来るだけ經濟的な見地から二錢要するものなら之を一錢使用してさせる様にしておか、而もそれが榮養價は反つて多くて幼児は喜ぶと云ふ點にまで注意しておやつを給する等は意ある託兒所の保母さんは考へるのであります。

四

以上の様に申し上げますと、何もかも家庭の母のすべき仕事を保母さんが總て母に代つてなし遂げる様に考へられるかも知れませんが、それは本當の理想でありまして實際はそこまで行きませんが、かうして母に注意を促すことに依りまして行くゆきは母親が自覺して洗濯の如きことは、家庭の母をして自然に「なさしめる」様に補導をすることが、本當の目的であります。既に申しあげました様に、託兒所保育の目的は幼児を立派に保育する外に幼児の家庭の生活を向上發展せしめるにあるのでありますから、多くのお母さん達は保母さんの指導に従つて、(1)これまでパンツをはかずに通つて居た幼児にこれをはかせるために簡単に作ることを母親に教へて、之を作らせて幼児に用ひさせるとか、幼児向きの簡單服を作ることを教へるとか、或は(2)榮養價の充分ある料理を教へて、その家庭の榮養状態を改める様に研究心を増させるとか(3)乳兒があればその正しい育て方を教へるとか云ふ様なことは、託兒所保母が怠つてはならぬ務めの一つであります。けれども多くの託兒所の保母さんは未婚の方もあり、育兒に經驗のない方もあり、またそうした研究の足りない方もあることでありまして、これを一般的に左様にされる様に強制することは出来ませんが、(4)それ等の必要を充分に認めて、自分が出来なければ他のその道の識者に依頼して、自分と幼児のお母さん達と一所になつて共に研究して行くだけの熱意がなければならぬのであります。

五

託兒所特有の目的を實現いたしますには、保母さんの絶えざる努力に依りまして託された幼児を保育する上に幼児の家

庭の母を指導訓練することにあるのであつて、これを缺いた保育は、唯保育事業所に來て居る間幼児を守り育てると云ふに過ぎないのでありまして、眞の意味に於ける保育は、幼児の生活に於ける家庭の缺陷をも補はなければなりませんからそれがためには家庭のお母さんにまで勢力を延さなければならぬのでありまして、家庭のお母さん達を保姆さんの意のままに働かせることの出来る保姆さんが始めて、幼児保育に云ふ所の家庭の缺陷を補ひ得る働きのある保姆としての資格がある云ふことが出来る様に思はれます。かうした目的を實現するには、託兒所に通ふ幼児の家庭は、中流以上の知識階級のお母さん達よりも、純朴であり、まして、保姆さんの心からの親切には心から従順であるので案外仕事の爲し易い點もあります。それでありまして、多年託兒所の保姆を務めた方が轉任でもされる際にはお母さん達が、心から別れを惜まれて保姆さんは去るに忍びない様な狀況が往々あるのであります。今一つ保姆さんが家庭の母さん達に働きかけて居るかどうかを知ることの出来るのは、母の會であります、既に申しました様に、保姆さん達の意志がお母さん達に通じて居れば、その保姆さん達の意のままにお母さん達を母の會に引き出すことが出来ます。それなのに、如何にしてなりとも之を引き出したいと努めても、それが得られないと云ふのは何處かに努力のたらぬ所があるか、又は何か無理な所があるかであります。時に依ると平素の會で司會の仕方が悪かつたり、講師の撰擇が適切を缺いたりしたために乳兒を携帯して居るのに時が意外に長過ぎたとか、時刻の擺び方を誤るとか種々な原因もありませうが、かうした會に對しましては何より保姆さんが家庭に理解されて居ることが大切なことでありまして、理解さへあれば少々の誤りは打消されて終ふのであります。尙此外にも託兒所保姆の任務もありませうが、今回はこゝらで筆を止めて置くことにいたします。

(昭和七、八、一七)